



# 9月の園だより



令和6年度 川崎保育園  
文責：水落

主 題：社会や自然の恵みに感謝しよう（報恩感謝）  
生活目標：番組は 選んでみよう 姿勢よく

うんざりするような暑さや何かと物議をかもしたパリオリンピック。そして、台風10号の迷走など… 今年の夏もいろいろありました。

しかし、確実に秋の気配が近づいています。日中はまだまだ厳しい残暑が続いていますが、朝晩はずいぶん涼しくなってきました。ようやく、園庭での活動も再開できそうです。運動会に向けて、子どもたちもウズウズしていることだと思います。先日夏のまつりから一段と成長した子どもたちの姿をご覧いただけたら幸いです。

## 園からのお願い

先月、福岡市で、バスと軽乗用車が衝突し、7歳と5歳の姉妹が亡くなるという痛ましい事故が起きました。後部座席でシートベルトを着用していたようですが、ジュニアシートは使用していなかったということです。「絶対」や「100%」はあり得ないかもしれませんが、安全性が高まるのは間違いありません。保育園の送迎やお出かけ時など、たとえ短時間でも、必ずジュニアシート（チャイルドシート）を使用していただきたいと思います。

お願いします



## 9月の行事予定

- 1日（日） 防災の日
- 17日（火） 中秋の名月
- 20日（金） 避難訓練
- 26日（木） お楽しみ給食

## 10月の行事予定

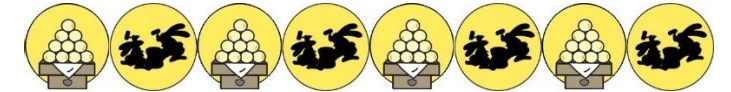
- 12日（土） 親子運動会
- ※ 詳細については後日ご案内します



## 本園の保育のねらい



スポーツの秋ももうすぐ！本園で行っている、体育ローテーションの3つの魅力について書かせていただきます。



### ・自然な流れの中の運動であること

体育ローテーションでは、さまざまな運動器具を組み合わせ、それを連続して経験することで、まるで自然環境の中にいるようなダイナミックなあそびを作り出しています。特定のスポーツになると活動は単調になりがちですが、本来の自然に近い、山あり谷ありといった環境を設定して、小さな身体に備わった運動の諸機能をフル活用できるよう工夫されています。



### ・仲間と取り組む集団遊びであること

どの子にも備わる運動本能を刺激して、体験を促すはたらきかけの主体が、同じリズム、動きを共にする仲間たちです。互いに動きを学び、「まねびあう」仲間です。みんなと身体を動かすことが楽しい、がんばることが楽しい、共振する、共感するという「よろこび」が、集団活動としての体育ローテーションの魅力といえます。

### ・身体の機能を使いつくす「快」にあふれていること

「からだを動かしたい」「もっと友だちと仲良くしたい」など発達の欲求に充ちたエネルギーが、体の中に飽和した状態にあるのが、本来的な子どもの姿だといえます。それを朝一番の体育ローテーションで「ああ、楽しかった」とやりきる。自らの内部にある年齢相応な機能を使いつくすことで、子どもはよろこび＝快に満たされます。（『総幼研ブックレット 動きと身体』秋田光彦著より）

